

アジアでのパリ協定の準備・実施状況の調査と強化への働きかけ

活動地域  アジア

ひろげる助成
3年目
調査研究

セミナー・イベントへの参加(累計)	200人
気候正義パンフレットの配布数	1,000枚
今年度計画の達成度	100%
目標達成度	70%



途上国メンバーを招いてシンポジウムを開催

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

気候変動が深刻になり、一刻も早い行動強化が求められているものの国際交渉はますます複雑化している。重要な点をわかりやすく市民に伝えるのに苦勞があった。

■ 工夫した点

若者による気候変動への取組み(Fridays for Future、気候ストライキなど)もあり、若い人々に届くような情報発信や若者グループとの対話を行った。

課題

各国が掲げている削減目標を積み上げてパリ協定の1.5度目標には届かず、とくに途上国では資金や技術が不足しているため、早急な目標強化と途上国支援が必要。

目標

アジア諸国の国別目標が強化され、パリ協定の1.5度目標達成に近づくこと。

活動内容と成果

アジア太平洋で広がり深刻化する気候変動影響について調査し、啓発パンフレットや調査報告書等、活動1、2年目に作成したツールを用いて、情報発信や提言活動に努めた。とくに3年目は5回以上セミナーを主催し、外部でも10回以上報告や講演会を行い気候変動の緊急性や途上国の気候変動影響等について情報発信した。

また、国連気候変動交渉に参加し、議論の最新動向の調査や提言活動を行った。省庁関係者や企業との対話も行い、パリ協定実施のための施策強化を求めた。



聖心女子大学で気候正義に関する展示開催

全助成期間の活動を振り返って

気候変動は喫緊の課題で、1.5度目標を達成するために私たちに残された時間はほとんどないが、今行動を起こせば解決できる問題でもある。この3年間様々な途上国の市民社会団体と意見交換を行って得た、途上国の視点・途上国にすでにある知恵や経験をいかしていきたい。



COP25で気候マーチに参加



今後の展望

これまでは「気候変動目標の強化」がまず第一歩としてみられていた部分であるが、気候危機が深刻になる中、即行動が求められている。もちろん政策上目標の強化は不可欠だが、3年間の間に培った知見や市民のネットワークをいかし、目標と行動の強化、一人ひとりができる気候変動対策を積極的に働きかけていきたい。

〒173-0037
東京都板橋区小茂根1-21-9
電話：03-6909-5983
HP：http://www.foejapan.org

